

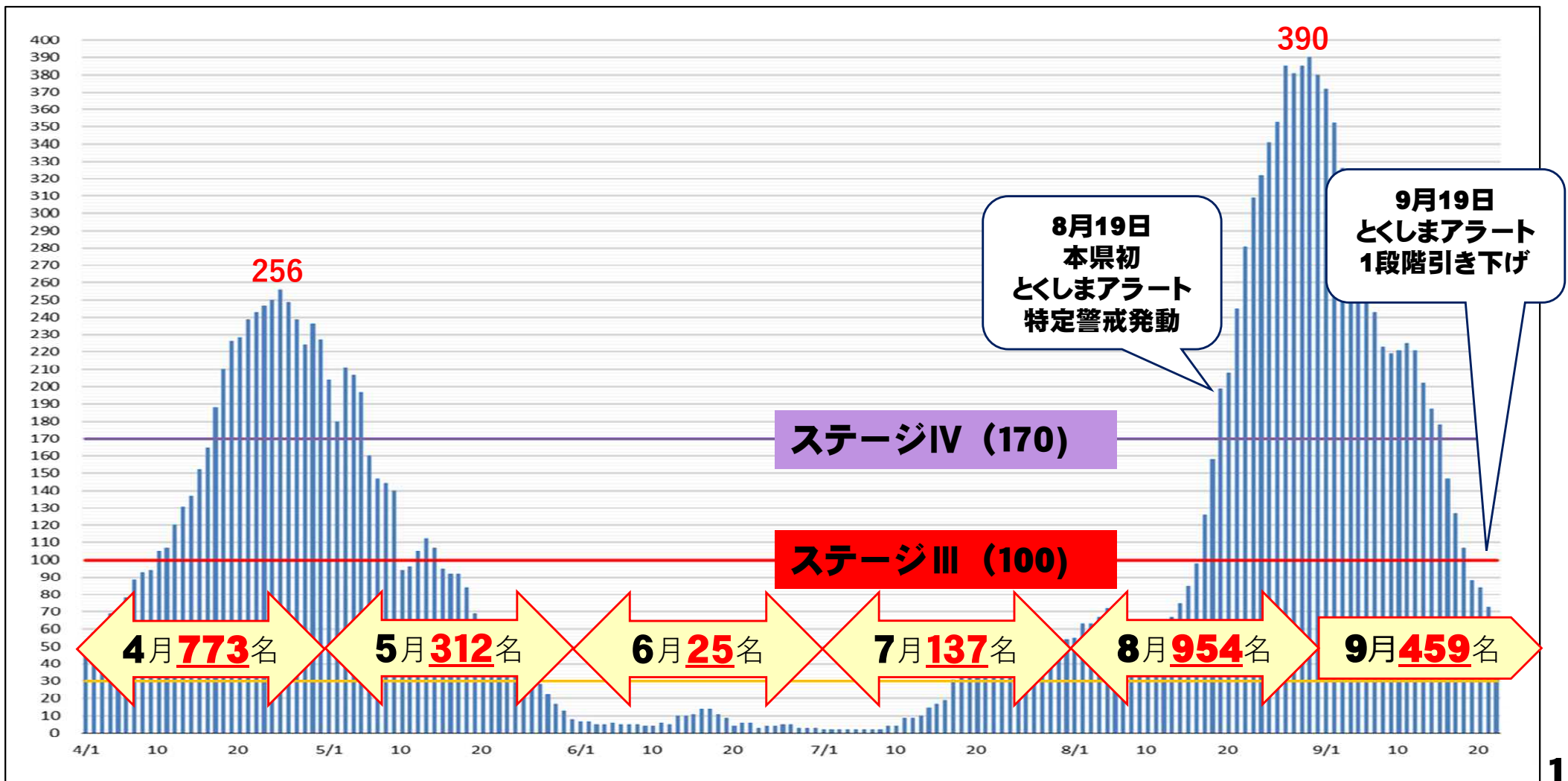
新型コロナウイルス感染症の現状について

保健福祉部

発生状況について ①

(1) 「感染者数」の推移

- 「感染者数の累計」は**3,206**名、「**9月**の感染者数」は**459**名（9月22日現在）
- 「直近1週間の新規感染者数」は「**8月30日**」の**390**名をピークに**以降減少傾向**
- 「1日あたりの感染者数」は「**9月18日**」以降**1桁台**で推移 ※公表日ベース

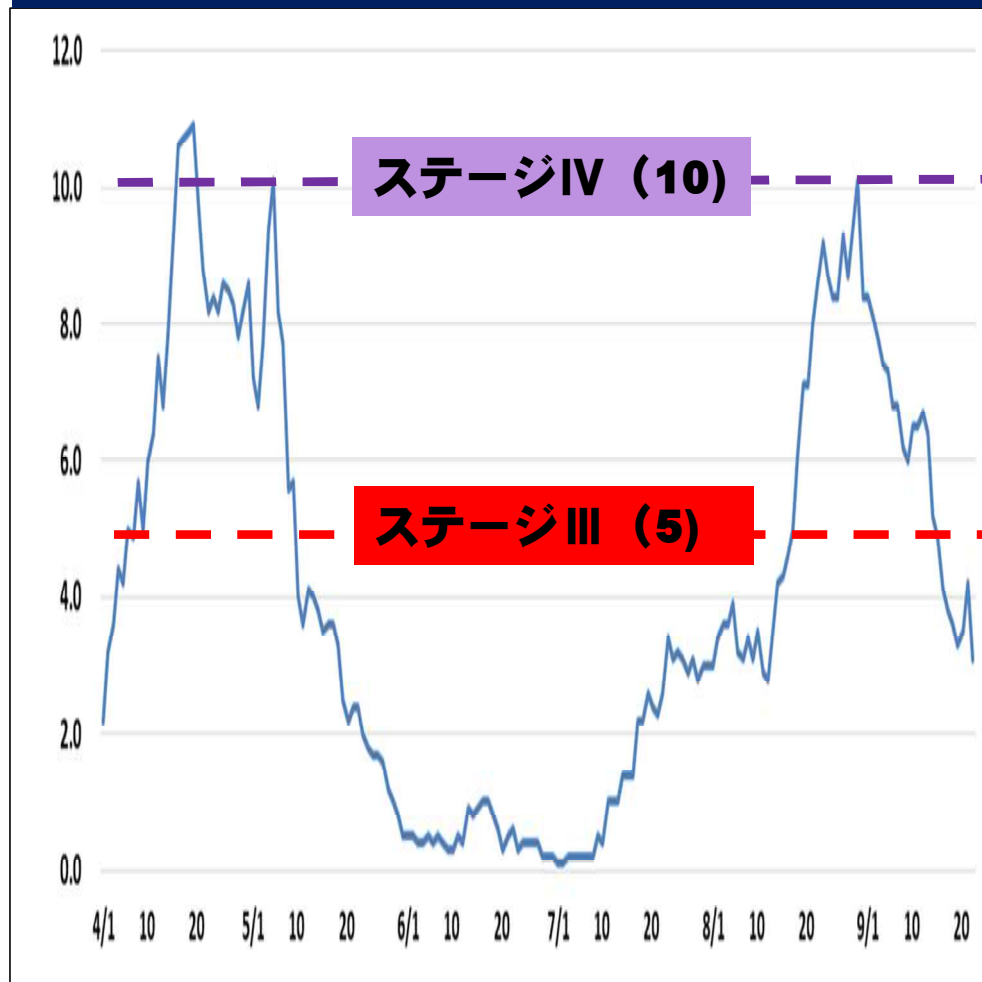


発生状況について ②

(2) 「PCR陽性率」及び「感染経路不明者割合」の推移

- 「PCR陽性率」は「**9月15日**」以降**5%を下回る水準維持**
- 「感染経路不明者割合」は**50%を下回る水準維持**

「PCR陽性率」の推移



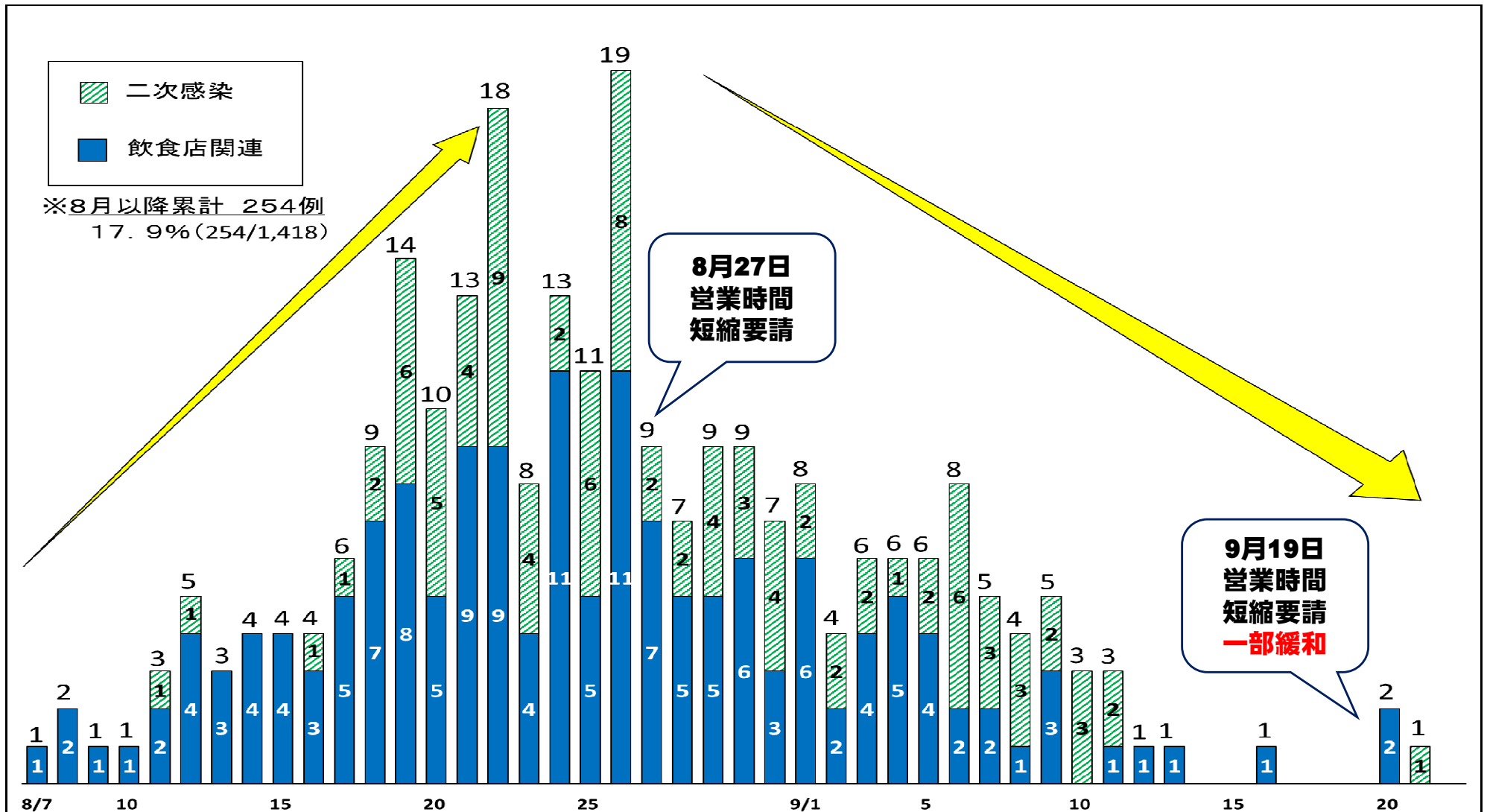
「感染経路不明者割合」の推移



発生状況について ③

(3) 「飲食店関連」感染事例の推移

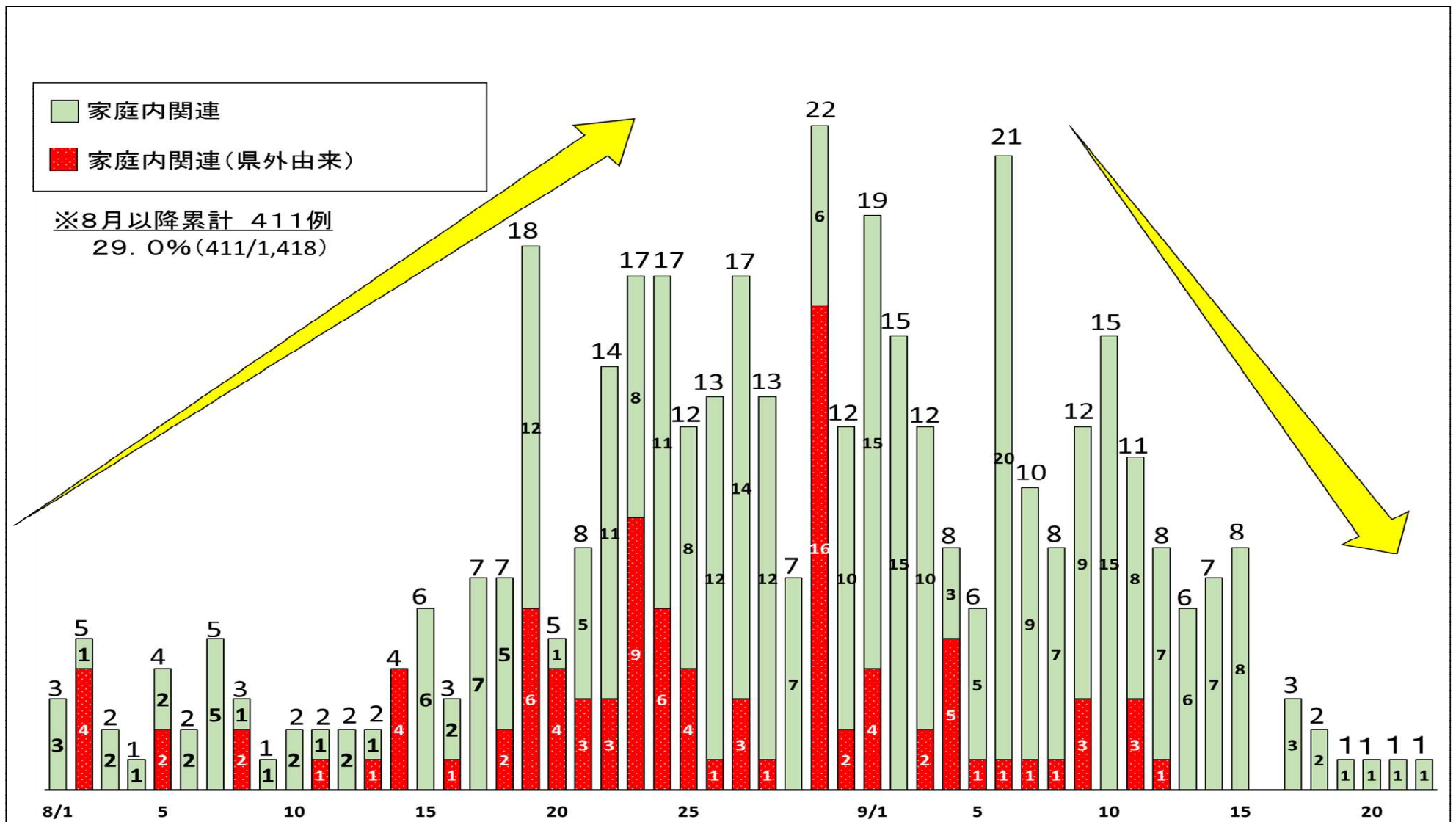
- 「飲食の場」での感染事例が増加し、「8月以降累計」は**254**例、感染経路全体の**約2割**
- 「時短要請」を行った「**8月27日**」以降、**減少傾向が顕著**



発生状況について ④

(4) 「家庭内関連」感染事例の推移

- 「家庭内での感染」が増加し、「8月以降累計」は**411**例、感染経路全体の**約3割**
- 8月中旬以降、**帰省等**を契機にした**県外由来**の「家庭内感染」事例が**増加**



発生状況について ⑤

(5) 変異株の監視体制の強化

●新たな変異株に備えた監視体制の整備

変異株の監視体制の強化

L452R（デルタ株）のスクリーニング検査の結果、8月26日実施分以降は、陽性率が100%であり、本県においてはデルタ株への置き換わりが完了している状況。
次なる脅威となりうるラムダ株に備え、ラムダ株の監視体制を整備。

■ラムダ株について

- ・WHOが「注目すべき変異株」に指定。
- ・南米由来の変異株であり、ワクチンに耐性がある可能性も示唆。

■ラムダ株スクリーニング検査の体制整備

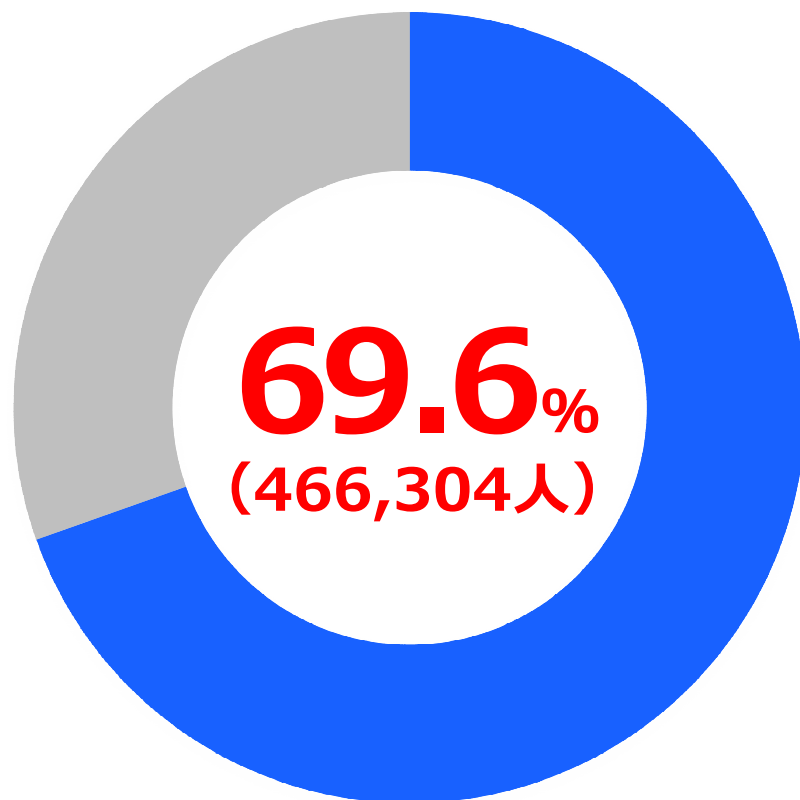
・9月23日から、家畜防疫衛生センターにおいて、「デルタ株」のスクリーニング検査で「陰性」となった検体について、「ラムダ株」のスクリーニング検査を実施する体制を整備。

主な変異株の名称と変異

	N501Y	E484K	L452R	L452Q・F490S
アルファ株（英国）	●			
ベータ株（南アフリカ）	●	●		
ガンマ株（ブラジル）	●	●		
デルタ株（インド）			●	
ラムダ株（ペルー）				●

ワクチンの接種状況について（令和3年9月22日時点）

12歳以上の県民の2回目接種済の状況



※12歳以上県民人口：670,043人
（令和3年1月1日時点）

大規模集団接種会場 （アスティとくしま）での接種実績

区 分	2回目 接種済み人数
高齢者	12,206人
高齢者・障害者施設従事者	1,753人
看護学生・AWAナース等	807人
児童・学校関係従事者	8,732人
高校3年生・寮生	1,430人
生活衛生同業組合・消防団	2,757人
合 計	27,685人